

One for all , all for one

産業保健相談員 メンタルヘルス支援促進員 両立支援促進員
神田 永子

あけましておめでとうございます。

令和最初のお正月はあっという間にすぎ、新しい年が始まりましたね。

昨年の大きな出来事と言えば、平成の時代が終わり、令和の時代がはじまったこと。そして、働き方改革元年もあります。私の中では、流行語大賞にもなった『ONE TEAM (ワンチーム)』で盛り上がったラグビーW杯史上初ベスト8も挙げられます。

当初は、釜石市で開催されるということもあり、楽しく応援するために、まずは、ルールを知るところからでした。

ラグビーは、ボールより前に選手がいちゃダメで、倒れたらなんにもしちゃダメで、ぐしゃっとしたら味方より前にいちゃダメで、流れをとめちゃダメなんですね。

そんな私でしたが、試合を観戦していくと、ラグビーの精神として「One for all , all for one」の文字に触れることが多くなり、その意味を知ると、更に入り込んでいました。

ラグビーは、攻撃をする時、サインが出て、全選手がその通りのプレーすることになりますが、理論上は、サイン通りにプレーすればトライが取れるはずですが、これが現実ではなかなか取れないんですね。

相手が上手なのか？ 味方がミスをしたからなのか？どちらにしても、前提条件が崩れ、想定していない事態が起こってしまいます。その時、ボールをキープして攻撃を続けるためには、仲間の選手が役割を果たせなかった事を常に想定し、フォローしていくことが重要となります。

なので、ミスはいつでも起こりうるという想定と想定外の事が起こっても仲間が全力でフォローしていくこととなりますが、ミスは起きるものなので、ミスを責めない。逆にフォローしていなかった事を責めるといったマインドになり、そして、この繰り返しのあとで、一つの目的(トライ)に繋がっていくのです。だから、「One for all , all for one」なんですね。

これは、会社としてのチームにも言えるのではないかと思います。

つまり会社においても、誰が優秀であるかではなく、それぞれの役割をきちんと果たしながら、会社というチームが一つの目的に向かって、お互いリスペクトし合って、フォローしていくことが、働きやすい職場環境づくりのスタートとなるのではないのでしょうか。働き方改革により、労働時間の短縮や有給休暇取得を徹底できたからといって、その分、社員一人ひとりの負担が増えてしまったり、業務に集中するあまり社内コミュニケーションが不足してしまったりは本末転倒です。そうした体制には持続性もありません。企業の一時的な生産性だけに重きが置かれて、個人の存在意義が尊重されなくなってしまうと、職場環境は改善するどころか悪化する一方でしょう。働きやすい職場づくりのゴールは、社員が伸びのびと働き続けられること、モチベーションが向上し、企業全体のパフォーマンスが継続的かつ健康的に向上することにあると思います。

一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために頑張ることが大切なことは間違いありませんが、みんなを構成する一人一人がそれぞれ誰かにとっての特別な One というのも忘れてはならないと思います。

最後に、前回の2015年の南アフリカに勝利してからの日本代表に4年間において、勝つための努力、世界のラグビー史を変えたいという思い、そして、このW杯のために過酷な練習を通し、『ONE TEAM』を作り上げた選手たちにとって、今回のW杯ベスト8は、改めて、奇跡ではなく、必然だと思っています。

そして、2023年フランス大会にどんな成長があるのか楽しみです。

岩手産業保健総合支援センターだより

令和2年1月1日発行 No.40

新年おめでとうございます！

令和で最初の新年を迎えました！と皆様へのご挨拶の言葉ですが、今年はあちこちで聞かれる挨拶だろうな、と思った次第です。

昨年は、ラグビーワールドカップが日本中で盛り上がりましたが、ラグビーがこんなにもおもしろいとは知らずに生きてきました。「にわかファン(2019年流行語大賞第17位)」になり、テレビの前で1試合1試合、大興奮しておりました！さらに2020年の今年は、東京オリンピックが開催されます。たくさんの競技が日本で行われ、今年も大興奮すること間違いなしの1年になりそうです！

さて、今年度の研修会も盛りだくさんな内容を予定しておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。令和2年がスタートしました！本年もセンター職員一同「ONE TEAM」で頑張っ参りますので、よろしくお願いいたします。

INDEX

1.研修会の開催予定

2.研修会の様子

3.ご利用案内

4.コラム - 産業保健相談員から -

1. 研修会の開催予定

岩手産業保健総合支援センターでは、産業医、衛生管理者、衛生推進者、健康管理担当者、産業看護職、人事労務管理担当者、管理職、事業主等の「産業保健スタッフ」の活動を支援するため、健康対策や労働衛生対策、メンタルヘルス対策等に関する研修会を開催しております。ぜひ、ご参加ください。

お申込み・お問合せは、当センターまで、電話019-621-5366/FAX 019-621-5367
又はホームページ(<https://www.iwates.johas.go.jp/>)のメールフォームからどうぞ。

1月開催

日時、場所	研修テーマ等	実施内容	定員
1月16日(木) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 802会議室	労働衛生対策等研修 テーマ：産業保健組織・スタッフの活用 ①産業医の活用促進 講師：産業保健相談員 茂木 隆 【岩手県予防医学協会 部長、医学博士】 ②衛生委員会の活用促進 講師：産業保健相談員 関向 和明 【岩手県予防医学協会 部長、労働衛生コンサルタント】	産業医の活用による健康診断の実施や有所見者への意見、長時間労働者等への面接指導、職場巡視の目的など、また衛生委員会の活性化について研修します。	20名
1月24日(金) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 802会議室	労働衛生対策等研修 テーマ：メンタルヘルス対策4 「精神障害の特徴と対応1」(精神医学の基礎) ①うつ病 ②双極性障害 ③統合失調症 講師：産業保健相談員 青木 慎一郎 【岩手県立大学 健康サポートセンター 特任教授】	うつ病、双極性障害、統合失調症の特徴と対応方法について研修します。	20名
1月27日(月) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 802会議室	カウンセリング研修IV テーマ：職場で使えるコミュニケーションスキル 「傾聴」その4 講師：産業保健相談員 今松 明子 【精神保健福祉士、産業カウンセラー】	「傾聴」5回シリーズの4回目。相手が何を考えているのか、何を相談したいのかを確認した上で、積極技法、指示技法などを用い論理的帰結に導く、カウンセリングの核心に迫る研修です。	20名

2月開催

日時、場所	研修テーマ等	実施内容	定員
2月14日(金) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 802会議室	労働衛生対策等研修 テーマ：メンタルヘルス対策5 「精神障害の特徴と対応2」(精神医学の基礎) ①適応障害と不安障害 ②発達障害~アスペルガー症候群~ ③人格障害 講師：産業保健相談員 青木 慎一郎 【岩手県立大学 健康サポートセンター 特任教授】	適応障害と不安障害、 発達障害(アスペルガ ー症候群)、人格障害の 特徴と対応方法につい て研修します。	20名
2月17日(月) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 802会議室	カウンセリング研修Ⅳ テーマ：職場で使えるコミュニケーションスキル 「傾聴」その5 講師：産業保健相談員 今松 明子 【精神保健福祉士、産業カウンセラー】	「傾聴」の最終回。基本ス キルとしての傾聴の技法 などのとりまとめと、相 手が自分自身に対する理 解を深め、前向きな言動 がとれるようになるスキ ルが中心となるカウンセ リング全般のとりまとめ について研修します。	20名
2月20日(木) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 802会議室	労働衛生対策等研修 テーマ：治療と仕事の両立支援の進め方 ①治療と仕事の両立支援ガイドラインの解説 講師：産業保健相談員 村木 真樹子 【看護師、シニア産業カウンセラー】 ②両立支援におけるコーディネーターの役割 講師：産業保健専門職 萩野 とも子 【保健師】	治療と仕事の両立支援 ガイドラインを解説し、 コーディネーターの 役割を研修します。	20名
2月21日(金) 13:30~15:00 盛岡 アイーナ 803会議室	労働衛生対策等研修 テーマ：産業医活用セミナー ①産業医等関係法令 講師：岩手労働局労働基準部健康安全課 担当官 ②産業医の活用 講師：産業保健相談員 神田 永子 【社会保険労務士】	産業医は「選任しなくて はいけないと言われたか らお願いしているけれ ど、何をしてくれる人な のかわからない。」など悩 んでいる事業者や人事担 当者に産業医とはどのよ うな役割をし、どのよう に活用したら事業場にと って有益になるのかを関 係法令とともに研修しま す。	30名



治療と仕事の
両立支援

(注) 研修については、実施内容、講師等について、予告することなく変更する場合があります。
当センターのホームページでご確認ください。QRコードからどうぞ。



2. 研修会の様子



産業医研修 (R1.7.13)
テーマ：職業性疾患の予防「中毒の予防対策」
産業保健相談員 関向 和明 先生による
研修の様子です。

労働衛生対策等研修 (R1.7.31)
テーマ：ハラスメントとメンタルヘルス
産業保健相談員 藤井 由里 先生による
研修の様子です。

産業看護職等研修 (R1.12.10)
テーマ：治療と仕事の両立支援の進め方
~コーディネーター限定~
産業保健専門職 萩野 とも子
産業保健相談員 阿部 恵美子 先生
による研修の様子です。

3. ご利用案内

■ 「岩手産業保健総合支援センター」をご利用ください。

≫≫ 「**産業保健関係者に対する専門的研修**」を実施しております。
岩手産業保健総合支援センターでは、産業医、産業看護職、衛生管理者等を対象として、産業保健に関する様々なテーマの研修を実施しています。
研修スケジュールにつきましては、当センターホームページ等でご確認ください。

≫≫ 「**個別訪問支援**」をお受けしております。(※無料です。謝金・交通費等は一切いただきません。)
メンタルヘルス対策や化学物質対策等の職場環境改善等について専門員が皆様の事業場に直接赴き、問題点について意見交換しながら、現場の状況に応じた改善方法をアドバイスしております。
お問い合わせは、当センターまでお願いいたします。

≫≫ 「**治療と仕事の両立支援**」をご利用ください。
「がん」などの長期治療が必要な労働者が、就労を継続するために必要なアドバイス等について、事業場・労働者に対する専門的相談や個別訪問支援を行います。出張相談窓口も開設しております。
お問い合わせは、当センターまでお願いいたします。

≫≫ 「**産業保健関係助成金**」をご利用ください。
「治療と仕事の両立支援助成金」の取扱いを本年度からはじめました。
詳しくは、[≪令和元年度 産業保健関係助成金≫](#) で検索してください。

岩手産業保健総合支援センター
電話 019-621-5366 / FAX 019-621-5367
URL <https://www.iwates.johas.go.jp/> E-mail iwate@iwates.johas.go.jp



治療と仕事の
両立支援

■ 「地域産業保健センター」をご利用ください。

≫≫ 地域産業保健センターでは、労働者50人未満の事業場を対象に、健康相談、長時間労働者の面接指導、ストレスチェックの高ストレス者の面接指導を無料で行なっています。
また、健康対策等の御相談について直接事業場の状況を見ながら、改善のアドバイスも行っています。

お問い合わせは、お近くの各地域産業保健センターまでお願いいたします。

【地域産業保健センター 一覧】

□盛岡地域産業保健センター	020-0013	盛岡市愛宕町 18-6 盛岡市医師会内	019-654-2164
□宮古地域産業保健センター	027-0061	宮古市西町 1-6-2 宮古市医師会内	0193-62-5880
□釜石・遠野地域産業保健センター	026-0034	釜石市中妻町 3-6-10 釜石市医師会内	0193-23-9966
□遠野窓口	028-0522	遠野市新穀町 1-11 とびあ2階 遠野市医師会内	0198-62-9182
□花巻地域産業保健センター	025-0075	花巻市花城町 3-3 渡邊花巻ビル2階 花巻市医師会内	0198-22-3881
□一関地域産業保健センター	021-0884	一関市大手町 3-40 (株) 岩手日報社一関支社ビル5F 一関市医師会内	0191-23-5110
□気仙地域産業保健センター	022-0003	大船渡市盛町字内ノ目 6-1 気仙市医師会内	0192-27-6700
□二戸・久慈地域産業保健センター	028-6101	二戸市福岡字八幡下 11-1 二戸市総合福祉センター 二戸市医師会内	0195-23-4466
□久慈窓口	028-0056	久慈市中町 1丁目 37番地久慈市役所分庁舎2階 久慈市医師会内	0194-53-0114